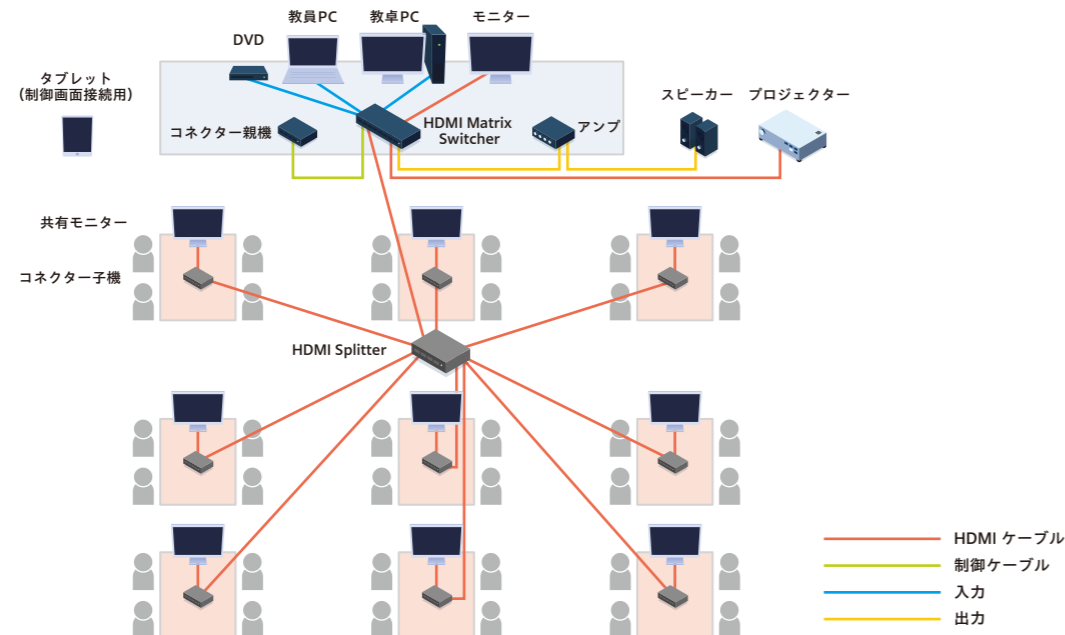


システム基本構成例

※マルチビュー装置および戻し映像に関する機器や配線は記載していません



仕様

CO-Nectar Collabo (子機)

- 本体1台につき、最大6つの入力、3つの出力を持つ、HDMI1.4b/HDCP1.4 (4K@30Hz) 対応のHDMIスイッチャー
- 4つのUSB-Cポートを持ち、それぞれが映像入力機能とUSB-C PD 3.0による最大100W (20V/5A) による給電を提供
- 4つのUSB-Cポートから入力された映像のシームレススイッチング機能および2x2のマルチビュー表示機能
- 2つのHDMIポートから入力された映像のシームレススイッチング機能およびUSB-Cから入力された映像に対するPIP表示機能
- 2つのHDMIポートから入力された映像に含まれる音声の除去機能
- RJ-45ポートによる有線LAN接続機能
- 入力切替用の大型物理ボタン(ケーブル長1.5m)が付属
- 100V商用電源に接続。最大消費電力420W

CO-Nectar 親機 (仮称)

- 本体1台につき、最大8つの映像入力、8つの映像出力を持つHDMI 2.0b/HDCP2.2対応のシームレスHDMIスイッチャーと10.1インチのタッチパネル対応モニターを備えた制御装置が付属。
- 映像のスイッチングは、タッチ操作により入力信号を出力ポートにドラッグドロップにより切り替える簡単操作
- RJ-45ポートによる有線LAN接続機能。
- スマートフォンやタブレットなどのブラウザから接続して、映像スイッチングなどの制御が可能。
- 制御画面の表示言語を日本語・英語で選択
- 制御画面の画面モードをライト・ダークで選択
- 100V商用電源に接続。最大消費電力100W

CO-Nectar Collabo の制御

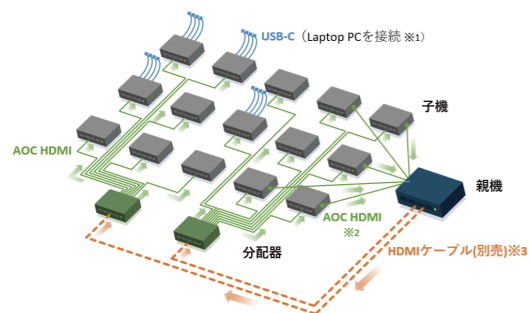
- 最大30台のCO-Nectar コラボ(子機)をリモート制御(子機側のブラックアウトも可能)^{※1}
- CO-Nectar コラボ(子機)側の入力切替用ボタンの機能を無効化する機能^{※1}
- CO-Nectar コラボ(子機)に対して4K品質の映像を配信する機能^{※2}

^{※1} 本機能の利用にあたっては、CO-Nectar コラボ(子機)側に無線LAN通信用のオプションモジュールの追加と、IP接続できる環境が必要
^{※2} CO-Nectar コラボ(子機)に対しての映像伝送はHDMIケーブル(Activeケーブルを推奨)による接続が必要

CO-Nectar マルチビュー表示装置 (仮称)

- 本体1台につき、最大16の映像入力、2つの映像出力をもつ、HDMI1.4b/HDCP1.4 (4K@30Hz)対応のHDMIマルチビュー表示装置
- 映像入力のうち1つを全面面に拡大表示する機能
- 映像入力のうち1つのうち、右上・左上・右下・左下のいずれかの角から1/4サイズの領域を全面面に拡大表示する機能
- 本体1台につきタッチパネル機能付きの液晶モニターを1枚備え、タッチ操作により拡大表示する画面や領域を指定する機能

配線図



^{※1} 実際にはすべての子機に各4本のUSB-Cケーブルが繋がっていますが、図中では一部省略しています。
^{※2} 実際にはすべての子機からAOC HDMIケーブルが繋がっていますが、図中では一部省略しています。
 AOC = Active Optical Cable (光ファイバによるアクティブケーブル)
^{※3} 分配器と親機の距離に応じて、Activeケーブルの利用をご検討ください。

別売品のご案内

CO-Nectarでの利用に最適

BYOD教室づくりに役立つ機能を持つオリジナルデザインの各種ハードウェア製品をご用意しております。ぜひお気軽にお問い合わせください。

HDMI アクティブ光ケーブル

ねじれやひねり、曲げに強いメタルアーマー仕上げ。ケーブルはフレキシブルで曲げに強く、これまでのAOCケーブルの弱点を克服する設計。



100W PD充電器 ケーブル一体型

本体からケーブルが抜けられないため教室などからの持ち去りを防止。GaN搭載設計、PSE認証取得済み、放熱性能が高く安全に配慮された製品設計。



会議・協働学習支援システム

コネクター・コラボ



株式会社シー・オー・コンヴ

〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町1番地7 百万遍ビル3F
 TEL : 075-606-5394
 E-mail : info@co-conv.jp



さらに詳しい情報は、弊社ウェブサイトへ！

<https://www.co-conv.jp>

Copyright 2026 CO-CONV All rights reserved 2026.04

● 単体での使い方

会議・協働学習支援システム



BYODが当たり前になった現在、資料提示のみを目的とした多数の中間モニターが並べられた従来型のPC教室ではなく、BYOD端末での効果的なグループ学習を補助し、学びの中心になる「共有モニター」を配した教室が求められます。CO-CONVの共有モニター制御システム『CO-Nectar Collabo (コネクター・コラボ)』が制御する「共有モニター」は、USB-Cケーブル1本で接続が完結し、スムーズに、スマートに、会議や協働学習を支えます。



BYOD端末を活かした、ミーティングスペースづくりを提案

Step1



デスクにあるケーブルをBYOD端末につなぐだけで、映像転送・充電ができる

つなぐだけの簡単設計で、端末の種類やOSを問わず、専用ソフトも不要です。映像の転送に加えて、PD100Wでの端末の充電も可能です。

Step2



最大4台のBYOD端末の同時接続・表示が可能

モニターに表示する端末は、デスク上に設置された専用リモコンで簡単に選択できます。映像の切り替えはシームレス。

※ボタンのデザインは変更される場合があります



Step3



4分割表示に対応、画面を見比べながらの協働作業ができる

4K表示に対応したシステム設計で、高解像度(4K)型のディスプレイを設置すれば、1人の画面を共有するだけでなく、4人の画面を分割表示して見せ合うこともできます。

● 複数での使い方

CO-Nectar Collabo を教室全体に展開

協働学習支援システムである『CO-Nectar Collabo』で、複数の会議デスクをすべて繋いで一元的な映像コントロールが可能です。さらに、教卓機と組み合わせることでBYOD対応教室を構成できます。



導入事例：大阪教育大学附属高等学校池田校舎
12卓の生徒デスクそれぞれに32インチの共有モニターを設置。各デスクは生徒が持ち込む4台のChromebookを広げるのに十分な広さを有しています。加えて、それぞれの生徒デスクに高性能パソコンを1台ずつ配備し、Windows環境を必要とする授業や実験で活用しています。2024年3月稼働開始。※先行モデルをご利用いただいています。

「CO-Nectar Collabo」で、教室をBYOD対応にアップデート

1. デスクをつなぐ

4人が集まれるCO-Nectarシステムのあるデスクを複数台設置し、すべてのデスクを繋ぐ。

2. 先生からの映像配信

教卓にある先生用端末もシステムに組み込むと、各デスクのモニターに先生からの教材映像を一斉配信できます。

3. デスク映像を先生が操作

各デスクからの映像を先生の手元に集約するマルチビュー表示が可能です。タブレットの制御画面から「特定のデスクの映像をほかの全デスクに一斉配信する」といった操作ができます。

BYOD対応教室へアップデート、新しい学びのカタチを支援する

「CO-Nectar Collabo」で、先生ができること

- 教卓にあるPCから各モニターや教室プロジェクターへの資料提示
- 書画カメラ等のさまざまな端末のインプットの提示
- 入力映像・出力先の制御は手元のタブレット等のタッチ操作で可能

どの映像を、どこに出力するかを考え、指先でドラッグ&ドロップするだけで表示を切り替え!

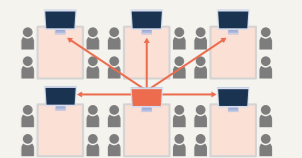


「CO-Nectar Collabo」で、生徒・学生ができること

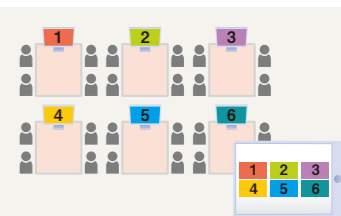
- 4人グループに1台の共有モニターを設置
- 画面共有や作業の見せ合いなどに使うことができる
- 高解像度(4K)のモニターは見やすく、4分割表示も対応



オプション



- 特定の共有モニターの映像を他の共有モニターに配信



- 共有モニターの映像を教卓でマルチビュー表示